



第308号

2014年(平成26年)9月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空溝町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 運天 政五郎
大臨技ホームページ URL
http://www.osaka-amt.or.jp/

平成26年度 日本臨床衛生検査技師会、大阪府臨床検査師会主催 「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」

評価点
基礎教科
30点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

平成19年12月28日付厚生労働省医政局長通知(医師及び医療関係事務職員等との間等の役割分担の推進)をうけ、平成25年度において各都道府県技師会から各1名の企画担当者を選任のうえ、「平成25年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会」を開催しました。

この講習を受けた企画担当者が「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」を企画し、各都道府県技師会単位で開催します。臨床検査技師に患者向けの臨床検査説明・相談実施に必要な知識及び技術を習得させ、それをもって臨床検査技師のチーム医療参画の質的向上を図ることを目的としています。

日時 平成26年10月25日(土) 9:00~17:00
26日(日) 9:00~16:00
開催場所 ホテルNCB(中之島センタービル) 3階
受講対象 病院等の施設長より受講承諾を受けた臨床検査技師。ただし、個人としての参加も可とします。(定員に満たない場合以外は1施設1名とさせていただきます。)日臨技、大臨技の重複会員とする。
受講料 10,000円
問合せ先 育和会記念病院 中央検査部 田畑 泰弘
TEL 06-6758-8000

主催 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
後援 ・厚生労働省
・公益社団法人 日本医師会 ・公益社団法人 日本看護協会
・一般社団法人 日本病院会 ・公益社団法人 全日本病院協会
・公益社団法人 全国自治体病院協議会
・一般社団法人 日本臨床検査医学会 ・チーム医療推進協議会

講習の可否について
先着順とし、上記(受講対象)を満たした者48名を可として9月24日(水)までに可・否の連絡を行います。
定員に満たない場合の募集期間の延長は大臨技ホームページ上で案内いたします。

講習会の実施等
本講習会は、日臨技及び大臨技共同主催とし、3年間開催をする。26年度は48名の講習修了者を目標に実施する。

申込み方法 同封の申込み用紙又は、ホームページより印刷し、FAXにて大臨技事務所(06-6763-5653)あてに送信をお願いします。申込期間は9月1日(月)~9月10日(水)までの10日間とします。(それ以前・以後の送信に関しては無効とします。)

■カリキュラム日程表

1日目	9:00~9:15(15分)	9:15~9:45(30分)	9:45~10:15(30分)	10:15~10:45(30分)	11:00~12:00(60分)	13:00~14:00(60分)	14:15~17:00(165分)
10月25日(土)	開講式 挨拶 大臨技会長 運天 政五郎	<ビデオ放映> 臨床検査技師が検査説明・相談に取り組む意義 日臨技会長 宮島 喜文	<ビデオ放映> 臨床検査技師の検査説明・相談に期待するもの~病院管理者の立場から~ 医療法人社団慶成会 青梅慶友病院 木村 満	<ビデオ放映> 看護師の患者接遇 日本看護協会 川本 利恵子	<ビデオ放映> 実践から学ぶ検査説明研修会実例紹介 飯田市立病院 臨床検査科長 貫原 正明	患者心理 <初級レベル> 大阪医療センター 医療相談室 医療ソーシャルワーカー 関根 知嘉子	接遇の基本 ロールプレイ リーガロイヤルホテル 吉田 富貴子
2日目	9:00~10:10(70分)	10:10~11:30(80分)	12:30~14:15(105分)	14:30~16:00(90分)			
10月26日(日)	検査説明の実際① 「技師による検査説明を考える」 株式会社 日本医学臨床検査研究所 学術顧問 朝山 均	検査説明の実際② 「臨床検査医からみて臨床検査技師の方にしてほしい検査説明相談」 臨床検査専門医会 会長 日本臨床検査専門医学会 理事 佐守 友博	R-CPC 天理医療大学 医療学部 臨床検査学科 教授 松尾 収二	検査説明・相談の 模擬演習 市立岸和田市市民病院 中央検査部 技師長 杉山 昌晃			閉講式

平成26年度(通算第42回) 大阪府医師会臨床検査精度管理調査について

(大阪府医師会よりのご案内とお願い)

平成26年度調査に関するタイムスケジュールは以下のとおりです。

平成26年 9月 中旬	同調査への参加の可否について確認する「予備調査」実施
平成26年 10月 下旬	検査試料を調査参加施設に送付
平成26年 11月	集計・解析実施
平成27年 2月	結果発送
平成27年 3月	集計結果検討会ならびに輸血・血液形態学セミナー開催

本調査実施の趣旨をご理解いただき、より多くの施設がご参加くださいますよう、ご案内を兼ね、お願い申し上げます。詳しいお問合せは、大阪府医師会・学術課(06-6763-7006)まで。

多職種
公開講座

糖尿病療養指導部会 定例勉強会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

前半の施設紹介では、病院とクリニックでの検査技師ができる療養指導の違いや“クリニックならではの”取り組みなどをご紹介いただきます。後半では、糖尿病の三大合併症のひとつである神経障害にスポットをあてて解説していただきます。糖尿病性神経障害は、糖尿病の合併症の中で最も頻度が高く、糖尿病発症後早期から発症し多彩な症状を呈します。今回の勉強会では、糖尿病性神経障害の病態とその検査法の一つである神経伝導検査を基礎から学びたいと思います。ぜひ多くの方の参加をお待ちしております。

日時 平成26年9月10日(水) 18:30~20:00
会場 住友病院 14階講堂
参加費 500円(一律)
連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
E-mail ariko0219@gmail.com



内容

- 施設紹介~クリニックで療養指導はどこまでできるのか?~
講師: なかじま糖尿病内科 山下 己紀子
- 糖尿病性神経障害と神経伝導検査
講師: 松下記念病院 江後 京子

糖尿病療養指導士認定のための更新単位 (臨床検査技師のみ第1群):0.5単位
(CDEJの方で認定機構発行の「学会・研修会出席証明書」の必要な方は各自持参して参加証明印をもらってください。2群の単位は取得できません。)

ACCESS
京阪電車中之島線 中之島駅下車(2番出口) 南へ徒歩約3分
阪神電車阪神本線 福島駅下車(西改札口) 南へ徒歩約13分
JR環状線 福島駅下車 南へ徒歩約15分
地下鉄四つ橋線 肥後橋駅下車(3番出口) 西へ徒歩約13分
地下鉄中央線 阿波座駅下車(1番出口) 北へ徒歩約12分

多職種
公開講座

NST・褥瘡部会 平成26年度 第1回 NST・褥瘡講演会

予告

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

日時 平成26年10月18日(土) 14:30~16:30
会場 多根総合病院 4階講堂
参加費 500円(一律)
連絡先 多根総合病院 中央検査部 堀 仁
E-mail: chuken@tane.or.jp

Theme 輸液と電解質の特集

- NST専門療法士認定試験対策
講師: 多根総合病院 薬剤部 久保 聡子
- 輸液・電解質の基礎(仮称)
講師: 大塚製薬株式会社(未定)
- 電解質異常と臨床における輸液療法(実際の使い方)(仮称)
講師: 未定

臨床化学検査部門 講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 「知っておきたい、異常データへの対応 ~機器トラブルを中心に~」

9月は自動分析装置を扱う方にぜひ知っておいていただきたい機器トラブルによる、異常データに遭遇した場合の対応をメインのテーマとしました。異常データが出る原因は様々ですが、それが検体・試薬・機器の何処に問題があるのかを探すヒントと手順が内容です。

7月は台風の接近が予想されてため中止にいたしました。ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。7月時実施する予定であった「知っておきたい尿生化学検査の勘どころ」は11月に行います。

内容

- 機器トラブルの対応事例
講師: 健保連 大阪中央病院 坂東 雅彦
- 異常データへの対処法
講師: 和光純薬株式会社 小川 藍

日時 平成26年9月11日(木) 18:30~20:00
会場 大阪医療技術学園専門学校
(従来の会場から変更しています。)
参加費 会員500円 非会員1,000円
連絡先 岸和田徳洲会病院 山中 良之
E-mail Yoshiyuki.yamanaka@tokushukai.jp

平成26年度 日臨技近畿支部 生理検査研修会

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 実務担当技師会：一般社団法人 京都府臨床検査技師会



『コース別生理検査講座』

～診断・治療に結びつく基礎的知識とスタンダードな検査法を目指して～

日時 平成26年11月16日(日) 10:30～16:15

会場 京都保健衛生専門学校 <http://www.kyohosen.ac.jp>
〒602-8155 京都市上京区千本通竹屋町東入主税町910
TEL:075(801)2571
JR二条駅、地下鉄東西線二条駅 徒歩約10分

定員 250名
*定員充足の場合、締め切り前でもお断りすることがあります。

受講料 (テキスト代込) 会員:5,000円 非会員:15,000円
注)各近畿臨床検査技師会会員のみの場合は、非会員となります。

申し込み方法

**【受付期間】 平成26年9月10日(水)午前0:00～
9月24日(水)終日**

- ※ 期間前の申込みは、受理しませんのでご注意ください。
また定員充足の場合、締め切り前でもお断りすることがあります。
- (1) メール件名に必ず「**生理研修会申込**」として、下記の必要事項を記載して、下記のアドレスまで申込みください。
- ① 氏名(フリガナ)、年齢、性別
 - ② 所属技師会 日本臨床衛生検査技師会 会員番号
 - ③ 施設名 住所 電話番号
 - ④ 連絡用メールアドレス(注: 携帯アドレス不可)
 - ⑤ 受講希望コース(1コースのみでお願いします。
他のコースへの変更はできません。)
- (2) 受付受理後、参加番号、振込先を返信します。
受理通知受取後、振込時に、参加番号、氏名を必ず記入して受講料を納入ください。
- (3) 受講料入金確認後、当日持参していただく受講表をメールにて添付いたします。受講表は、プリントアウトして当日持参してください。

申し込み・問い合わせ先

近畿支部 生理検査研修会事務局

E-mail: kyouringiseiri@gmail.com

電話連絡先: 医仁会武田総合病院 検査科 鮎川 宏之まで
075-572-6331(代表) 3165(内線)

重要: 注意事項

- 当日、後日の入金は受付できません。
又、理由を問わず入金を頂いた参加費用はご返却できません。
- 受講表の持参
受付時の混雑を避けるため、受講表に『振込金受領書』を貼付してご持参ください。
- 連絡用メールアドレス について
入金確認後、受講表をお送りしますので、携帯電話アドレスは、ご遠慮ください。
対応できない場合は、事務局まで連絡をお願いします。

プログラム

9:45～	申込みコース別受付開始
10:30～12:00	講義①
12:00～13:00	昼休憩
※昼食は、各自でご用意ください。	
13:00～14:30	講義②
14:45～16:15	講義③
16:15～16:20	閉講式

各コース内容

【心電図コース】

- | | |
|----------------------|----------|
| ① 心電図 波形異常を見るときのポイント | 安部 浩二 技師 |
| ② 心電図 不整脈を見るときのポイント | 沖 都麦 技師 |
| ③ 治療に結びつく心電図診断とその実際 | 溝渕 正寛 医師 |

【心エコーコース】

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| ① 基本断面の描出と計測について | 山内 一浩 技師 |
| ② 収縮能、拡張能の評価
～よく遭遇する疾患について～ | 今川 昇 技師 |
| ③ 技師が知っておくべき僧帽弁疾患とその評価 | 平田 久美子 医師 |

【血管エコーコース】

- | | |
|----------------------------|-----------|
| ① ルーチン検査に生かす
頸動脈エコーの基礎 | 住ノ江 功夫 技師 |
| ② ルーチン検査に生かす
下肢動脈エコーの基礎 | 大前 嘉良 技師 |
| ③ ルーチン検査に生かす
下肢静脈エコーの基礎 | 六尾 哲 技師 |

【腹部エコーコース】

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ① 腹部超音波基礎 描出のテクニックとポイント | 増田 信弥 技師 |
| ② 急性腹症においてよく遭遇する症例 | 田村 周二 技師 |
| ③ 実臨床での超音波検査の位置づけ
～急性腹症を中心に～ | 西内 綾 医師 |

【神経生理コース】

- | | |
|----------------------------|-----------|
| ① 神経伝導検査
～臨床医と患者が求めるもの～ | 佐々木 一朗 技師 |
| ② 脳波検査 ～脳波検査のポイント～ | 小林 昌弘 技師 |
| ③ 脳波でわかること、予想できること | 池田 昭夫 医師 |

【肺機能コース】

- | | |
|-------------------------------------|----------|
| ① スパイロメトリーの基礎
～ガイドラインに沿った正しい手技～ | 藤澤 義久 技師 |
| ② スパイロメトリーの基礎
～データの見方・考え方<症例検討>～ | 北川 実美 技師 |
| ③ 呼吸機能検査にてよく遭遇する疾患における診断と治療 | 長尾 大志 医師 |

「第11回 心エコー実技研修会」



例年、ご好評いただいております心エコー実技研修会を今年度も開催いたします。本研修会は、どの研修会よりも受講者の皆様に少しでも長くプローブを持っていただけることをモットーとしております。例年通り、少人数制にすることにより、いまさら聞けないことや日常の悩みなどを経験豊富な講師陣に気軽に聞ける環境を実現しました。

今回の特別講演（ランチョンセミナー）では僧帽弁閉鎖不全をテーマとし、1日目に内科の立場として大阪市総合医療センター循環器内科の阿部幸雄先生に、2日目は外科の立場として大阪市立大学医学部附属病院心臓血管外科の柴田利彦先生に講演をお願いしております。この2日で僧帽弁閉鎖不全の理解が深まることは間違いありません。また、実技の講師陣も関西を代表するエキスパートが揃っております。このチャンスをぜひとも逃さないようにしてください。

各コースも充実しており、ひたすらプローブを持って実技のみを行う実技集中コース、基本的事項を中心に学習するベーシックコース、各疾患に応じた病態生理・検査の進め方などを学習するスキルアップコース、さらに今回新たに講義のみを聴講する講義集中コースを設けました。自施設に指導者がいない方、日常の検査にお困りの方、さらなるスキルアップを目指したい方など、皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時 平成26年10月12日(日) 9:30~18:35 10月13日(月) 9:10~17:00
会場 大阪府医師協同組合本部

内容	時間	実技集中コース (初心者~中級者 対象)				ベーシックコース (初心者~初級者 対象)				スキルアップコース (初級者~中級者 対象)				講義集中コース (初心者~中級者 対象)			
		受付				開会・オリエンテーション				全体講義「大臨技お勤めルーチン検査法」				移動・休憩			
1日目	9:00 ~ 9:30	受付															
	9:30 ~ 9:40 (10分)	開会・オリエンテーション															
	9:40 ~ 10:30 (50分)	全体講義「大臨技お勤めルーチン検査法」															
	10:30 ~ 10:45 (15分)	移動・休憩				休憩				移動・休憩				休憩			
	10:45 ~ 12:15 (90分)	実技講習① (5名/1台)				講義B① 「心エコーに活かせる解剖」 講義B② 「各種計測法の活かし方」				実技講習① (3~4名/1台)				講義B① 「心エコーに活かせる解剖」 講義B② 「各種計測法の活かし方」			
	12:15 ~ 12:25 (10分)	移動・休憩				休憩				移動・休憩				休憩			
	12:25 ~ 13:25 (60分)	ランチョンセミナー①「僧帽弁閉鎖不全症における心エコーの役割:内科医の立場から」															
	13:25 ~ 13:35 (10分)	移動・休憩				休憩				移動・休憩				休憩			
	13:35 ~ 15:05 (90分)	実技講習② (5名/1台)				講義B③ 「僧帽弁の見方・考え方」 講義B④ 「大動脈弁の見方・考え方」				実技講習② (3~4名/1台)				講義B③ 「僧帽弁の見方・考え方」 講義B④ 「大動脈弁の見方・考え方」			
	15:05 ~ 15:20 (15分)	休憩				移動・休憩				移動・休憩				休憩			
	15:20 ~ 16:50 (90分)	実技講習③ (5名/1台)				実技講習① (3~4名/1台)				講義S① 疾患を究める 「大動脈弁狭窄症」 講義S② 疾患を究める 「僧帽弁閉鎖不全症」				講義S① 疾患を究める 「大動脈弁狭窄症」 講義S② 疾患を究める 「僧帽弁閉鎖不全症」			
	16:50 ~ 17:05 (15分)	休憩				休憩				休憩				休憩			
	17:05 ~ 18:35 (90分)	実技講習④ (5名/1台)				実技講習② (3~4名/1台)				講義S③ 疾患を究める 「人工弁」 講義S④ 疾患を究める 「先天性心疾患」				講義S③ 疾患を究める 「人工弁」 講義S④ 疾患を究める 「先天性心疾患」			
	~ 9:10	集合・移動															
	9:10 ~ 10:40 (90分)	実技講習⑤ (5名/1台)				講義B⑤ 「収縮能指標の活かし方」 講義B⑥ 「拡張能指標の活かし方」				実技講習② (3~4名/1台)				講義B⑤ 「収縮能指標の活かし方」 講義B⑥ 「拡張能指標の活かし方」			
	10:40 ~ 10:55 (15分)	休憩				移動・休憩				移動・休憩				休憩			
	10:55 ~ 12:25 (90分)	実技講習⑥ (5名/1台)				実技講習② (3~4名/1台)				講義S⑤ 疾患を究める 「心不全」 講義S⑥ 疾患を究める 「心筋症」				講義S⑤ 疾患を究める 「心不全」 講義S⑥ 疾患を究める 「心筋症」			
	12:25 ~ 12:35 (10分)	移動・休憩				移動・休憩				休憩				休憩			
12:35 ~ 13:35 (60分)	ランチョンセミナー②「僧帽弁閉鎖不全症における心エコーの役割:外科医の立場から」																
13:35 ~ 13:45 (10分)	移動・休憩				移動・休憩				休憩				休憩				
13:45 ~ 15:15 (90分)	実技講習⑦ (5名/1台)				実技講習③ (3~4名/1台)				講義S⑦ 疾患を究める 「急性冠症候群」 講義S⑧ 疾患を究める 「肺高血圧症」				講義S⑦ 疾患を究める 「急性冠症候群」 講義S⑧ 疾患を究める 「肺高血圧症」				
15:15 ~ 15:30 (15分)	休憩				移動・休憩				移動・休憩				休憩				
15:30 ~ 17:00 (90分)	実技講習⑧ (5名/1台)				講義B⑦ 「症例検討Part①」 講義B⑧ 「症例検討Part②」				実技講習④ (3~4名/1台)				講義B⑦ 「症例検討Part①」 講義B⑧ 「症例検討Part②」				
17:00	閉会・解散																

募集人員 100名 (実技集中コース20名、ベーシックコース30名、スキルアップコース30名、講義集中コース20名)
参加資格 臨床検査技師、医師、放射線技師、他、医療従事者で血管エコーを勉強したい方ならどなたでも参加できます。
参加費 全コース一律 会員21,000円・非会員22,000円 (テキスト代、昼食代込み)
 ※会員とは、大阪府臨床検査技師会に所属している技師
 非会員とは、大阪府臨床検査技師会に所属していない技師および他職種の方 (大阪府以外の他府県技師会の会員は非会員となります)
応募期間 平成26年9月3日(水)~平成26年9月10日(水) 9月3日以前の申込みに関しては受付いたしません。
申込要項 以下の項目を全て記入の上、メールにて下記アドレスへ申し込み下さい。
 1. 希望コース 2. 氏名 3. カナ氏名 4. 年齢 5. 性別 6. 職種 7. 施設名 8. 部署名 9. 施設住所 10. 施設電話番号
 11. 連絡先 E-mailアドレス 12. 会員or非会員 13. 会員番号 (会員のみ) 14. 経験年数 15. あなたご自身の1ヶ月の検査件数 (概算で結構です) (注意事項) 11. 連絡先E-mailアドレスは、ホットメールの返信が受信できるものでお願いします。
申込先 dairingUCG@hotmail.co.jp 1メール1名でお願いします。(同じメールアドレスを複数回利用するのは可能です)
主催 (公社)大阪府臨床検査技師会 学術部 生理検査部門 問合せ先:大阪市大病院 安保 浩二 (kaboreinaren@gmail.com)

研修内容に関しては大臨技ホームページを参照ください。

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
←評価点→
日臨技生涯教育点数

生理検査部門 定期講習会

Theme 終夜睡眠ポリグラフ検査(PSG)の実際

講師 馬場記念病院 検査部 山崎 功次

睡眠時無呼吸症候群(SAS:Sleep Apnea Syndrome)は、大きないびきを伴い、睡眠中に何度も呼吸が止まった状態(無呼吸)が繰り返される病気です。そのため、睡眠が障害され、日中の活動性や労働の質、運転能力などの低下をきたします。さらに、高血圧や虚血性心疾患、糖尿病などの生活習慣病を高率に合併し、生命予後に影響を与えることが明らかになっています。

終夜睡眠ポリソムノグラフィー検査(PSG)は、無呼吸の原因や重症度評価、治療方法を決定するために欠かせない検査であり、この検査に関わっている方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回の定期講習会では、馬場記念病院 山崎 功次 技師に、睡眠時無呼吸症候群の病態、PSGに関する装着時の注意点から解析まで分かりやすく解説をして頂きます。皆様、ふるってご参加ください。

日時 平成26年9月18日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校

定員 100名(座席数)
※満員の際は入場をお断りする場合があります。

受講料 会員500円 非会員1,000円
※今回は日臨技推進事業のため、日臨技会員も会員扱いです。

連絡先 大阪市立大学医学附属病院 安保 浩二
E-mail:kaboreinaren@gmail.com

学術部 微生物検査部門からのお知らせ

微生物検査部門 定期講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
←評価点→
日臨技生涯教育点数

Theme 「MIC測定の有効性DPS192ix」

講師 栄研化学株式会社 マーケティング推進室3部1課
山口 重人

日時 平成26年9月25日(木) 18:30~20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 大阪赤十字病院 臨床検査科部 市村 佳彦
E-mail triplets-kazu-nao-aki@nifty.com

今回の定期講習会では、栄研化学がこの春に発売した薬剤感受性分析装置「DPS192ix」についてご講演いただきます。薬剤感受性分析装置としては、他社も含め市場に出回っており、使用しているユーザーもおられると思います。栄研化学からは、すでにDP(ドライプレート)、FP(フローズンプレート)が発売されていますが、薬剤感受性分析装置「DPS192ix」はアンチバイオグラム・耐性菌チェック・カイネティック・精度管理機能が搭載されています。さらに従来のDPに比べ大幅に薬剤測定項目数を増やした新たなDPに対応しており、今後自動化装置を導入検討されている施設にとって、役立つ内容となっております。皆様のご参加お待ちしております。

受付時に日臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れ及び他府県会員証では、非会員扱いになりますのでご注意ください。

学術部 免疫血清検査部門からのお知らせ

免疫血清検査部門 定期講演会3 (初級講座3)

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
←評価点→
日臨技生涯教育点数

残暑厳しい折、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、今回の免疫血清検査部門定期講演会は、「初級講座3」として「肝炎および感染症マーカー」のデータの読み方を学ぼうと思います。富士レビオ株式会社は、臨床検査特に感染症検査においてはパイオニア的な存在で、皆様も一度は検査機器・試薬をご使用になられたことがあるかと思います。

また肝炎マーカーにおいては新しい検査も登場し、少しややこしくなっていますので、今回そのあたりも整理してお話いただく予定です。秋の行楽シーズンではございますが、非常に有用なお話が聞ける機会でございます。なにとぞお問い合わせのうえご参加くださいますようお願いいたします。なお、今回会場が変更となっております。ご注意ください。

日時 平成26年9月24日(水) 18:30~20:00

会場 大阪研修センター C会議室

参加費 会員500円 非会員1,000円

定員 50名

連絡先 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 上田 一仁
E-mail k.ueda@ashiya-hosp.com

内容

18:30~19:00 イムノクロマト法の基礎理論
講師: 市立芦屋病院 臨床検査科 上田 一仁
19:00~20:00 肝炎および感染症マーカーの読み方
講師: 富士レビオ株式会社 学術サービス部 学術支援 江川 孝則



学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

細胞診定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

乳腺と甲状腺の二つの領域について行います。細胞診が確定診断につながる重要な領域で、検体処理法や基礎知識、正常・良性異型細胞などの良性病変から腫瘍性病変にわたり、わかりやすく解説していただきます。初心者の方ももちろん、経験者の方も知識の整理に役立つ絶好の機会です。みなさまぜひご参加ください。

Theme 「乳腺・甲状腺細胞診」

- 1. 乳腺 講師：大阪府立成人病センター 龍 あゆみ
- 2. 甲状腺 講師：隈病院 鈴木 彩葉

日時 平成25年9月26日(金) 18:45~20:15
 会場 北野病院 5階 きたのホール
 参加費 会員500円 非会員1,000円
 *大臨技会員証を必ず提示してください。会員証の忘れと他府県会員証では非会員扱いとなります。
 連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 三原 勝利
 E-mail: kattu310a@gmail.com



細胞検査士資格認定試験1次対策フォト形式模擬試験



来月は細胞診定期講習会最後の締めくくりとして模擬試験を行います!!
 詳しくは10月号の大臨技ニュースで確認してください。

日時 平成26年10月4日(土) 13:30~17:00
 会場 北野病院 5階 きたのホール
 連絡先 星ヶ丘医療センター 臨床検査部 三原 勝利
 E-mail: kattu310a@gmail.com

学術部 血液検査部門からのお知らせ

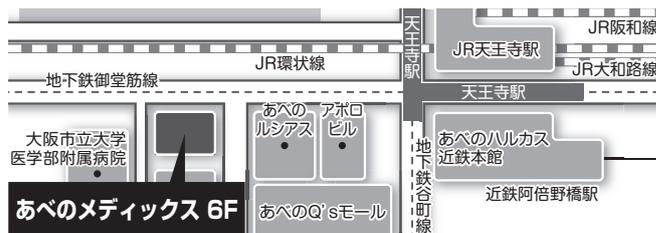
凝固講演会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

今年度の凝固講演会は、超豪華ラインナップです。第1部では、日常で遭遇する異常値の解釈を懇切丁寧に解説していただき、第2部では、プロテインCについて「なるほど、そういうことだったのか」と気分爽快で帰っていただける内容となっております。ぜひとも万端繰り合わせのうえ、ご参加ください。

日時 平成26年9月27日(土) 14:30~17:00
 (受付14:00~)
 会場 アベノメディックス 6階ホール
 参加費 会員500円 非会員1,000円
 *日臨技申請事業のため、他府県会員でも日臨技会員証提示で500円で参加できます。
 共催 積水メディカル
 連絡先 星ヶ丘医療センター 稲田 孝
 TEL: 072-840-2641

- 第1部 「PT・APTT異常値に遭遇した時の対処法」
講師：天理よろず相談所病院 臨床検査部 下村 大樹
- 第2部 「臨床検査から見えるプロテインCの構造と機能」
講師：元鳥取大学医学部保健学科病態検査学 准教授 飯島 憲司



10月講演会 開催予告

日時 平成26年10月4日(土) 14:30~17:00
 会場 アベノメディックス 6階ホール
 参加費 会員500円 非会員1,000円

内容 「慢性骨髄性白血病の治療戦略—治癒は可能か—」
 講師：京都第二赤十字病院 血液内科 部長 魚嶋 伸彦
 共催 ブリストル・マイヤーズ株式会社
 連絡先 星ヶ丘医療センター 稲田 孝
 TEL: 072-840-2641

大臨技理事会報告 Executive board report

平成26年度 第4回 (7月10日)開催分

1. 次年度から大臨技事業報告書のフォーマット等を見直すこととした。
2. 平成27年大阪で開催する近畿支部学会は運天現会長が学会長を務める。
3. 大臨技事業の表示区分を見直し、簡潔明瞭にした。
4. 平成26年度大放技・大臨技合同フォーラムは平成27年1月31日(土)大阪府医師協同組合会館8階ホールで「肝がんの診断と治療のトピックス」をテーマに開催予定。
5. 平成26年9月20日(土)午後4時から近畿臨床検査技師会OB会を開催予定。
6. 次期役員改選に伴い、役員選出委員会規程案を総務・会計部会で検討することとした。

検体管理システム部門 実技講習会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数



多くの医療機関では、臨床検査データをはじめ様々な情報を蓄積し、データベースを管理するためのソフトウェアを使い、必要に応じて検索・分析等して利用されています。今年度の検体管理システム部門の実技講習会は、データベースをテーマに、その基礎的な事項の講義と、簡単なデータベースの構築とデータ利用の方法をMicrosoft Accessを使って実習します。

- ※パソコンの台数の関係で各回とも先着30名の予約制とさせていただきます。
- ※パソコンのOSはWindows7、使用するソフトはAccess2010です。
- ※対象はパソコンの基本操作がわかる方で、大臨師会員とさせていただきます。
- ※シリーズ参加を基本とします。単回受講でも受付は行いますが
前回の講義内容についての復習は行いません。

日時

- 第1回** 平成26年10月4日(土) 14:00~17:00
データベースの基礎(講義)とAccessの基本
講師: JR西日本健康増進センター 大江 泰浩
- 第2回** 平成26年10月11日(土) 14:00~17:00
Access応用操作(クエリ・リレーションの作成)
講師: 独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院
竹村 真俊
- 第3回** 平成26年10月18日(土) 14:00~17:00
Accessを使ったデータ利用
講師: 大阪大学医学部附属病院 医療情報部
真鍋 史朗

会場

大阪医療技術学園専門学校 コンピュータ室

参加費

3回シリーズ参加 3,000円 (単回参加は1,500円)

定員

30名 (参加多数の場合はメール到着順とさせていただきます。)

申込方法

pc@oamt.jp宛に
「シリーズ」もしくは「第〇回を希望」と書いて会員番号・氏名・所属、連絡先住所をお知らせください。

受付期間

9月1日(月)~受付を開始します。
締め切り シリーズの場合は9月27日
単回の場合は、各回の1週間前まで。
※受付期限外の申込みは無効とします。

- ※ 確認のメールをお送りしますので、携帯・スマートフォンから申込みされる方はpc@oamt.jpからの受信を許可にしておいて下さい。
- ※ 申込み後5日を過ぎても連絡がない場合は、
<連絡先>アドレス宛にご連絡下さい。

連絡先

J R西日本健康増進センター 大江 泰浩
E-mail systembumon@oamt.jp
(問い合わせの際は、件名のヘッダに「<検体管理>」と付けてください)

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

検体管理システム部門 特別講演会

平成26年度 大臨技 精度保証施設認証制度講習会 「日臨技 精度保証施設認証に申請してみませんか？」

医療の質の向上のためには臨床検査の品質が向上することは必須の課題となっています。そこで日臨技は、平成22年度より外部精度管理調査およびデータ標準化事業に参加し、信頼性が十分保証されていると評価できる施設に対し、「精度保証認証施設」として認定しています。

大臨技では平成25、26年度の認証施設として12施設、平成26、27年の認証施設として11施設が認証されました。しかし大阪は全国と比較すると対象施設が多いにもかかわらず、申請施設や認証施設が少ない地域となっています。そこで今回の講演会では天理医療大学の山本先生に日臨技精度保証施設認証の趣旨を解説していただき、多くの施設の方々に申請していただきたいと考えています。

今回の講演会は認証制度申請のための認定研修会となりますので、申請を予定しておられる施設の担当者の方はご参加をお願い申し上げます。



日時 平成26年10月25日(土) 14:30~17:00

会場 大阪医科大学 学I 講堂(講義実習棟第I 講義室)

参加費 会員1,000円 非会員3,000円

連絡先 パナソニック健康保険組合 松下記念病院
中央臨床検査部 中島 康仁
E-mail: fwhz2544@mb.infoweb.ne.jp

内容

1. 日臨技精度保証施設認証制度の紹介
講師: 松下記念病院 中央臨床検査部 中島 康仁
2. 精度保証施設認証の取得の意義を考える
講師: 天理医療大学 臨床検査学科 山本 慶和

学術部 輸血検査部門からのお知らせ

平成26年度 日臨技近畿支部 輸血研修会

評価点
専門教科
30点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 輸血検査の初級者への指導技術の標準化に向けて

日時 1日目 平成26年10月4日(土) 12:30~17:00
2日目 平成26年10月5日(日) 8:30~13:00

会場 1日目 京都府立医科大学 基礎医学学舎
2日目 京都保健衛生専門学校 第1・2実習室

募集人数 講義+実技講習 60名(事前申込み制)

対象者 各施設において指導的立場の臨床検査技師
(輸血検査業務経験 5年以上)

受講料 講義+実技講習(2日間)会員5000円 非会員10000円
各地区臨床検査技師会会員のみの方は非会員扱いとなります。

連絡先 京都桂病院 輸血部 井上 和子
TEL:075-393-2875 FAX:075-392-5699

申込み方法 FAXでの事前申込みとなります。
「参加申込み書」に必要事項を記入のうえ、FAXでお申込みください。

9月21日(日)締め切り
(定員になり次第締め切らせていただきます)

申込み方法等の詳細は
大臨技ホームページをご参照ください。
「参加申込み書」は大臨技ホームページから
ダウンロードしてください。

10月4日(土)
12:00~12:30 受付開始
12:30~12:45 開講式

【全国輸血研修会のDVDによる伝達講習】

12:45~16:45 DVD講演
講演1 血液型検査のテクニック
講師：関東甲信越ブロック血液センター 矢部 隆一
講演2 不規則抗体検査のテクニック
講師：東邦大学医療センター大森病院 日高 陽子

休憩

講演3 DAT陽性時の対応
講師：福島県立医科大学附属病院 川畑 絹代
講演4 交差適合試験の方法および注意点について
講師：佐賀大学医学部附属病院 東谷 孝徳

16:45~17:00 翌日の実習のための注意事項・お知らせ

10月5日(日) 【初級者を指導するための実技講習会】

8:00~8:30 受付
8:30~8:45 実技を行う前の注意点
8:45~12:30 実技講習 ①凝集判定の目あわせ(1回目)
② ABO・Rh式血液型判定
③ 不規則抗体検査
④ 凝集判定の目あわせ(2回目)
12:30~12:50 総評
12:50~13:00 閉講式

情報組織部よりお知らせ

多職種
公開講座

多職種合同チーム医療研修会

予告

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

今年で第4回目を迎える多職種合同チーム医療研修会。今回のテーマは「ICT」です。
ICTに大変興味をもっているけれど、①細菌検査は超初心者な臨床検査技師 ②細菌のことをもっと知りたいリンクナース
③ICNなんだけれどもまだまだ知りたい院内感染対策 ④他施設のICT状況を知りたい私。
初心に振り返ってICTを考えてみます。

日時 平成26年10月4日(土) 15:00~17:30
(受付14:00~)

会場 関西医科大学附属滝井病院 南館2階臨床講堂

参加費 500円(一律)

対象 臨床検査技師、看護師、薬剤師ほか医療従事者

定員 120名
参加者多数の場合は立ち見参加となりますのでご了承ください。

連絡先 大阪府立成人病センター 臨床検査科 井戸田 篤
E-mail: idota-at@mc.pref.osaka.jp

Theme 「初心者向け ICT 講座」

1. 「細菌検査の基礎の基礎(仮)」
講師：市立豊中病院 臨床検査部 笹垣 貴美(臨床検査技師)
2. 「水周りのブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌とその対策(仮)」
講師：大阪大学医学部附属病院 医療技術部 西 功 (臨床検査技師)
3. 「当院のICT活動(仮)」
講師：近畿大学医学部附属病院 医療安全対策課 久光 由香(看護師)

第32回 北地区自由集会



評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
評価点
日臨技生涯教育点数

Theme 「あなたもできる検査説明」

日時

平成26年10月18日(土) 15:30~18:00

会場

大阪医科大学 学1講堂(講義実習棟2階)

参加費

会員500円 非会員1,000円

連絡先

北地区責任者 大阪医科大学病院 東山 智宣
E-mail: tomohigashioamt@gmail.com

- 1 「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成について」
講師:地区事業部 田畑 泰弘
- 2 「採血室での検査説明(仮題)」
講師:大阪医大病院 中央検査部採血室 畠村 朋子
- 3 「検査相談室での検査説明(仮題)」
講師:大阪府立成人病センター 臨床検査科 山本 章史
- 4 「検査相談室での検査説明(仮題)」
講師:医師交渉中
- 5 総合討論

Voice

臨床検査技師教育機関からの声

第9回 大臨技教育セミナー(平成26年7月19日)に参加して

初めて大臨技教育セミナーに参加してとても緊張しました。松田先生の臓器移植と人口臓器の講演では学内の授業で習った内容を再確認でき、よく理解できたのでとてもうれしくなり、実際に人工臓器を取り付ける映像に感動しました。とても勉強になる講演でした。もっと色々な話を松田先生から聞いてみたいと思いました。

また、臨床検査技師でもいろいろな職につけることに驚きました。特に私が興味をもったのは北垣戸さんの人間ドッククリニックの話です。私は人と関わる仕事につきたいです。「人間ドックにこられるのは患者ではなく、お客様である。」基本来院されるお客様は正常の方だということをきいて、もし病気のお客様がいた場合、早急に発見できるように、学生のうちからしっかり勉強しておこうと思いました。

大阪医療の卒業生で、近大の附属病院で働いていらっしゃる永井さんは、学会などたくさん出席されていて、学生のころからとても努力していたんだらうなど関心しました。私も一生懸命頑張ろうと思いました。

他の検査技師さんのお話もとてもためになるものでした。次回の大臨技セミナーもぜひ参加したいと思います。

大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科 2年 道井 千晴



於:平成26年6月28日・29日 インテックス大阪

Report

マタニティカーニバル2014 報告

去る6月28日(土)・29日(日)にインテックス大阪にて開催された「マタニティカーニバル2014」において、本年度も体験コーナーの運営を当会地区事業部の担当でボランティアスタッフを募り運営を実施しました。

本年度のボランティア数は2日間で延べ118名(28日(土) 58名、29日(日) 60名)と過去最高数となりました。特に医療系大学、専門学校からのボランティア登録が11名と大幅に増えたことが特徴的でした。

本年度の体験コーナーは、実施を希望される方が短時間に重なることが少なく、ほぼ全



時間帯に希望者が均等になったことで待ち時間が減り、来場された府民の皆様の満足度は上がったのではないのでしょうか。4D超音波体験は過去最高の14台体制で800名を超える実績となりました。全体の希望者は減少したこともあり、当日抽選の当選率が大幅に上がり、体験できる確率が飛躍的に向上したと思われま

す。ボランティアに参加していただいた方には感謝の言葉しかありません。このイベントの社会的意義は大きく、より充実した魅力的な体験コーナーになりますよう、今後も創意工夫をして参ります。

各ブースにおける体験人数

	28日	29日	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年
4D超音波体験	404	403	807	700	803	797	708	596
内蔵脂肪測定	243	268	511	388	449	未実施	未実施	未実施
骨密度測定	405	472	877	1155	852	789	592	511
脳年齢チェック	300	245	545	522	535	496	457	未実施
パパのマタニティ体験	153	199	352	413	516	458	531	525
体験者総数	1505	1587	3092	3258	3155	2753	2876	2224
入場者総数	10274	11984	22258	21847	21708	21286	20121	19646
体験コーナー利用率(%)	14.6%	13.2%	13.9%	14.9%	14.5%	12.9%	14.3%	11.3%

担当役員:大臨技地区事業部 田畑 出野 後藤 栗本

糖尿病療養指導士講演会 報告

第25回糖尿病療養指導士講演会は近畿地方が梅雨明けと発表された7月21日に大阪大学中之島センターにて開催され参加しました。

講演1部では、まず池田病院の立石先生が「CGM検査における臨床検査技師の役割」と題して、CGM(持続グルコースモニタの略)を2年間で90症例について適用されたご経験を講演されました。血糖コントロールにおけるCGMの有用性がよく理解でき、新たな臨床検査技師の療養指導における役割を示唆していただいたと思いました。

西田先生は理学療法士として大阪府済生会富田林訪問看護ステーションにご勤務しておられ、「訪問リハビリテーションにおける在宅での糖尿病療養指導」と題して、多職種での連携した在宅糖尿病患者さんとの関わりについてまとめていただきました。講演内容が大変、面白くて療養指導という観点ではなく、私は近未来の自分に起こることのような気がして、在宅医療のよりよい充実を望むだけでなく、今後の日本における糖尿病療養指導の方向性の一端を垣間見たような気がしました。

講演2部は「ヘモグロビンA1cの質を考える～ケーススタディー～」と題して、吉岡内科クリニックの吉岡啓治先生がご講演されました。吉岡先生は2011年3月末まで私が勤務する松下記念



病院 糖尿病・内分泌科 部長として糖尿病チームを指導していただきました。実は私は先生のご講演を楽しみの一つとして参加させていただきました。

血糖コントロールの指標にはHbA1cが用いられ、その値を下げることを強調されてきました。しかし最近では下げすぎるとかえって生命予後を悪化させることも報告され、近年の糖尿病治療ガイドラインでは、HbA1c値は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険、サポート体制を考慮して個別に設定するように改定されました。

これはHbA1c値ばかり注目するのではなく、良好な血糖コントロールを達成するためには、血糖の日内変動を小さくする「質」も評価しなければならないということでした。今回の講演会から、私もCGMを行って自身の血糖変動と日常生活との関連をみてみたくなる程の興味深い内容でした。

この講演会は糖尿病療養指導に携わる人だけでなく、糖尿病に関する臨床検査を担当する方々にとっても、有用な講演会であると思います。この会が糖尿病をキーワードとして業種や検査部門の垣根を超えて、さらに発展していくことを願っています。

松下記念病院 中央臨床検査部 中島 康仁

今回の講演会は今後増えるであろうCGM検査、普段全く関わりのない訪問リハビリテーションの在宅での療養指導、なじみのあるヘモグロビンA1cについてと様々な分野での内容であり、大変楽しみにしていました。

まず、検査技師立石先生からのCGM検査における臨床検査技師の役割のお話では、検査技師が直接関わっている数少ない施設であり、興味深く聞かせていただきました。導入時に苦労したお話は特に印象に残っており、通常の採血や生理検査以上に患者様に侵襲性のある検査だけに慣れない作業やアクシデントへどう対応しなければならないのかも考えさせられました。検査技師は主に機械管理・データ管理を行うそうですが、どれだけ臨床に役に立つ、わかりやすいレポートとして返せるかも大事であるそうで、患者様に生活習慣を記入していただくログノートも工夫されていて感心しました。こういった取り組みで検査技師の役割の幅がいっそう広げられたらとの思いが強くなりました。

次に、理学療法士西田先生の在宅での療養指導のお話では、訪問リハビリとはどんなことを行っているのか、糖尿病の患者様に対し実際に経験された訪問時のお話や動画・写真を交えてわかりやすくお話していただきました。在宅での看護・リハビリの必要性や在宅での療養指導を加えていきたいのにまだ在宅での療養指導に対し医療者側の認識が足りない部分がある事を知りました。そして今話題のロコモティブシンドロームのお話では、実際行う

テストを皆でやってみたり、代表者にやらしてもらったりと視覚的・体感的にも楽しくお話を聞くことができました。

その他、病院の主導は医療者であるが在宅での主導は患者様・ご家族の方であるとお話があり、在宅での患者様やご家族の方の様子を動画や写真を見せていただいた際には普段病院で見る患者様の印象と表情が違う気がしてとても心に残りました。

最後に医師の吉岡先生からは普段よく行うヘモグロビンA1cの質についてのお話がありました。今までの私の認識よりもさらに統計的であり、同じA1cの値でも患者様ごとの血糖値の日内変動や日差変動は全く異なることをCGMのデータを交えてお話しがありました。私が今まであまり考えていなかった血糖変動の指標としていくつかの項目を挙げ、変動が大きい程合併症のリスクが上昇するというので、ますますCGMに興味が出てきたところで吉岡先生が講演中にもCGMを装着していて、血糖値まで披露してくださったことでますます興味がわきました。

その他同じようなA1cの値の患者様でも年齢やその他背景によりコントロールの評価が異なり、治療方針も違うとのことがあり、医師ならではのお話が聞けて大変参考になりました。

今回も様々な職種の方のお話を聴けてとても良い刺激になりました。

松原徳洲会病院 検査科 秋山 恵子

今回、糖尿病療養指導療法士講演会に初めて参加させていただきました。

池田病院の立石先生や吉岡クリニックの吉岡先生のご講演を聞き、新しい知識を知ることができ大変刺激になりました。立石先生のCGM検査では、CGMを活用した1日の血糖変動の流れ、そこから推測される原因や血糖の予測などが大変分かりやすかったです。また、吉岡先生のHbA1cの話では季節や日内変動により細小血管障害、大血管障害の合併や死亡率が高くなること、加えて変動だけでなくHbA1cの「質」が重要であることが大変興味深く、私の訪問リハビリテーションの利用者様に



理学療法士による最大歩幅での身体機能評価実演

に対して指導や注意喚起することができる知識であり、大変勉強になりました。

私が担当している患者様は、CGM検査を受けている方は現在いませんが、今後検査されるようになれば病院だけでなく在宅での連携にも活かすことができるのではないかと感じています。

また、私の先輩である西田の話にもあったのですが、病院や地域との連携の大切さは、訪問リハビリテーションだけの話ではないと感じました。患者様のセルフケアを重視し、多職種と連携を図りながらQOLを高めていくという点においては、糖尿病療養指導と大きな違いはないことを改めて再認識することが出来ました。

今回の研修会では多職種の方の知識を知ることができ、今後私に関わる在宅での糖尿病患者様のリハビリテーションに活かすことができると思います。

済生会富田林訪問看護ステーション 理学療法士 前田 和輝

会員交流会募集のお知らせ

本年度は、いつもの堺とれとれ市から場所を移し、大阪市内で宴会・演芸大会を企画したいと思います。今回、交流会では初めての企画として、何か一芸をという方の出し物を募集いたします。漫才・ギター・マジックなどはもちろん、一発芸あります。自薦・他薦は問いません。

日時

平成26年10月4日(土) 14:30~(貸切です)

会場

谷町9丁目 和風ダイニングバー Beering Bon

会費

2,000円

連絡先

大阪労災病院 出野 憲由

E-mail: et-iden@orh.go.jp

TEI: 072-252-3561 院内PHS(4258)

メールか電話でご連絡ください。

締め切りは、9月24日(水)とさせていただきます。



ACCESS



大阪府大阪市天王寺区生玉前町1-1

上本町ホールビル2階

06-6779-9625

地下鉄谷町九丁目5番出口降りて東へ徒歩20秒

上本町ホールビルの2階

大臨技事務局からのお知らせ

■ 平成26年度「年会費」納入について

日臨技・大臨技の両方に入会されている方と**大臨技のみ**に入会されている方とは、会費の金額や納入方法が違いますので、ご注意ください。大臨技ニュース、大臨技ホームページに会費納入について掲載しておりますので、熟読のうえ、ご対応くださいますようお願いいたします。

大臨技のみに入会されている方は、早急に会費を納入くださいますようお願いいたします。

※【重要】会費未納の方については、7月より「大臨技ニュース」等の当会発行物の送付を中止させていただいておりますので、ご了承ください。

日臨技・大臨技の両方に入会されている方は、日臨技へお問合せください。

■ 平成26年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」について【重要】

平成26年度分の賠償責任保険の募集は、7月20日を持ちまして終了いたしました。

これ以降は保険の募集は行っておりませんので、ご了承願います。

■ 大臨技退会申請について

大臨技退会を希望される方は、大臨技ホームページより「退会届」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、大臨技事務所までご提出ください。

※【重要】日臨技にも入会されている方は、日臨技と大臨技の両方に退会の申請を行ってください。

■ 平成26年度大臨技会員証について

4月1日から6月30日までに会費を納入された方につきましては、7月末日に発送いたしました。

次回の発送は、10月中旬頃を予定しています。10月の発送を持ちまして最終発送といたしますので、会費納入がまだの方はお早目にご納入くださいますようお願いいたします。

11月以降は、「会員登録証明ハガキ」を会員証の代わりとさせていただきます。

また、「平成26年度大臨技会員証」の発送は、封書からハガキによる発送に変更いたしました。

■ 会員証の再発行について

紛失等により再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「大臨技会員証再発行申請書」をダウンロードし必要事項をご記入の上、大臨技事務局に届けると共に、当申請書に記載されている通り、再発行費500円を郵便局にてご納入ください。再発行日程は、会員証発行日程に準じます。11月以降は、「会員登録証明ハガキ」を会員証の代わりとさせていただきます。

■ 臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許を取得されましたら、大臨技ホームページより「臨床検査技師免許証番号 届出書」をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、当会事務局までご提出ください。現在は仮登録の状態ですので、免許証番号をご連絡いただきましたら、正会員として正式登録いたします。

※【重要】届出が無い場合は、翌年3月末日で除籍扱いとなります。

■ 施設・技師会・住所等の変更について

施設の異動・転入・転出による技師会の変更、転居による住所変更など、登録データに変更が生じた際は、速やかに当会事務局までご連絡ください。

大臨技ホームページより「会員異動届」「施設登録用紙」をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、当会事務局までご提出ください。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務局までご連絡ください。

第32回 中央地区自由集会

Theme 「ウイルス感染症の最新の発症状況と細菌迅速検査の現状報告」

昨年から、ウイルス感染症陽性患者が多く報告されており、特に麻疹・風疹の増加が目立っています。
全国的にも発症報告が増加しており、都市部での増加の報告数が特に多く報告されています。
今回、中央地区のテーマとして企画いたしましたので、各施設での参考としていただければ幸いです。
また、細菌迅速検査(イムノクロマト法)の各検査項目における最近の検査状況を報告していただきます。
多数の方々のご参加をよろしくおねがいします。

日時 平成26年9月13日(土) 14:30~17:00
(受付14:00~)

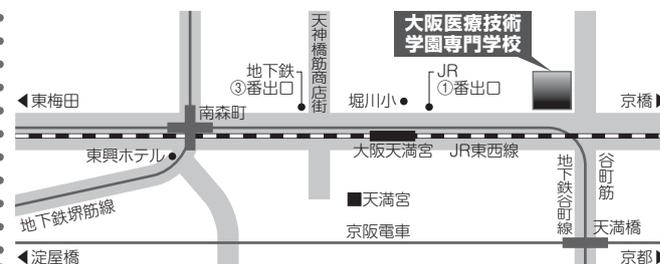
会場 大阪医療技術学園専門学校 2階 大教室

参加費 会員500円 非会員1,000円

資料 60名まで(先着順)

連絡先 中央地区責任者 大阪府済生会野江病院 臨床検査科
森 啓悟
E-mail:kensa@noe.saiseikai.or.jp
TEL:06-6932-0401(内線280番)

- 内容**
1. ウイルス感染症の最新の発症状況
(麻疹・風疹・水痘帯状ヘルペスおよび
その他ウイルス感染症関連を中心に)
講師: シスメックス株式会社 免疫事業推進部
寺田 宏明
 2. 細菌迅速検査(イムノクロマト法)の現状報告
講師: 富士レビオ株式会社 販売部門
学術サービス部 吉尾 仁美



自動化学発光酵素免疫分析装置

スフィアライトワコー

SphereLight Wako

- 迅速報告20分
- 処理能力 180テスト/時間
- 最大24項目をフルランダムアクセス処理



医療機器届出番号:13B1X0013400024

簡単・迅速を
追求しました。

HIGH
PERFORMANCE

腫瘍マーカー	AFP、CEA、CA19-9、CA125、PSA、NSE、proGRP、CA15-3、PVIKA II
甲状腺	FT3、FT4、T3、T4、TSH
他ホルモン	PRL、LH、FSH、i-PTH、C-ペプチド、インシュリン
感染症	HCV抗体、HBs抗原、HBs抗体、TP抗体、Hピロリ抗体
心疾患	NT-proBNP、トロポニンT、CK-MB、ミオグロビン
その他	ペプシノゲンI、ペプシノゲンII、フェリチン、IgE、β2-m、PCT

[機器 試薬販売元] [試薬製造販売元]

和光純薬工業株式会社

[試薬製造販売元]

三洋化成工業株式会社

[機器製造販売元]

日立アロカメディカル株式会社

【問い合わせ先】

和光純薬工業株式会社

臨床検査薬 カスタマーサポートセンター

TEL: 03-3270-9134 (ダイヤルイン)

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付ください。

平成26年10月号の原稿メ切は9月5日(金)、11月号は10月3日(金)です。